

(お知らせ)

2007年1月16日
株式会社 情報通信総合研究所

第8回 ネット社会の未来を考えるシンポジウム 開催のご案内

「地域と人を結ぶ ICT」 ～顔の見えるコミュニティとビジネスに向けて～

株式会社 情報通信総合研究所（東京都中央区日本橋人形町 2-14-10、代表取締役社長：藤田潔）では、このたび「第8回 ネット社会の未来を考えるシンポジウム」を開催する運びとなりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

このシンポジウムはネット社会のさまざまな根源的問題を探るものとして継続的に開催しているシンポジウムであり、今年で第8回目を迎えます。

本年度は、「地域と人を結ぶ ICT～顔の見えるコミュニティとビジネスに向けて～」というテーマのもと、地域の活性化をもたらす情報通信技術（ICT）の活用について、各地の具体的な取り組み事例をふまえながら、ICTが持つ社会的意義について議論いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。お申し込みは下記のURLよりお願いいたします。

（なお、報道関係者の方にはお申し込み手続きが不要なお席をご用意しております。受付にてその旨をお申し出ください。）

シンポジウム実施内容

- 日時 2007年1月30日（火）
14：30～18：00（14：00より受付開始）
- 場所 大手町サンケイプラザ3階会場（303+304室）
（会場案内<<http://www.s-plaza.com/map/index.html>>）
東京都千代田区大手町1-7-2（大手町駅A4・E1出口直結）
TEL：03-3273-2257
- 主催 株式会社 情報通信総合研究所
- 参加費 無料
- 定員 120名
応募者多数の場合は抽選とさせていただきますので、後日受講確認のメールを送付いたします。
- お申し込み <http://www.icr.co.jp/crisis/info.html>

□ プログラム

- 14：30～ 主催者ご挨拶
株式会社 情報通信総合研究所 代表取締役社長 藤田 潔
- 14：35～ 「『地域』への社会的関心の高まりと IT インフラの普及
～シンポジウムテーマの背景～」
株式会社 情報通信総合研究所 主席研究員 清水 博
- 15：00～ 講 演
「IT活用による農業コミュニティビジネスの展開」
株式会社内子フレッシュパークからり 特産開発部部长 山本 真二氏
- 15：40～ 「デジタルでアナログな共同体～地域社会のきずなを取り戻すために～」
東海大学政治経済学部 小林 隆氏
- 16：20～ <休憩>
- 16：30～ 「こころのふるさとづくり～田舎.tvの挑戦～」
NPO 法人情報社会生活研究所 代表理事 小橋 昭彦氏
- 17：10～ パネルディスカッション
「地域情報化を地につける条件とは？～20年の企ての果てに～」
早稲田大学大学院政治学研究科客員教授 小林 宏一氏
- モデレータ
東京経済大学コミュニケーション学部教授 川浦 康至氏

なお、弊社ウェブサイトにて講演予定内容や講演者のプロフィールをご案内予定です。あわせてご確認くださいませようお願い申し上げます。

シンポジウムご案内及びお申し込みホームページ <http://www.icr.co.jp/crisis/info.html>

本シンポジウムに関するお問い合わせ先
担当者：黒田・仁木・上原・横山
メールでのお問い合わせ：sym-info@icr.co.jp
電話でのお問い合わせ：03-3663-7153

□ 【参考】講師プロフィール

<p>(株)内子フレッシュパークからり 山本 真二氏</p>	<p>愛媛県出身。内子町役場入庁。2001年、株式会社内子フレッシュパークからり情報センター勤務、2004年より現職。 内子フレッシュパークの計画、事業導入にかかわる。各種情報関連事業による「からりネット」の整備、補完を実施するとともに農業情報利用の普及啓発を行っている。</p>
<p>東海大学政治経済学部 小林 隆氏</p>	<p>東海大学政治経済学部政治学科講師、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士（政策・メディア）、情報政策課チーフを経て2002年より現職。 総務省「Web 2.0時代の地域のあり方に関する研究会」委員、同省「公共分野におけるアクセシビリティの確保に関する研究会」委員。著書に『インターネットで自治体改革』（イマジン出版）、『市民にやさしい自治体ウェブサイト構築から運用まで』（共著、NTT出版）など。</p>
<p>NPO 法人情報社会生活研究所 小橋 明彦氏</p>	<p>NPO 法人情報社会生活研究所代表理事。メール情報誌『今日の雑学』シリーズ編集長。 兵庫県の農村に在住、まちおこしに取り組む。日経ビジネスオンラインにコラムを連載、『ここまでわかった!?最新雑学の本』（講談社）を著すなど、文筆家としても活躍中。平成十七年度地域作り総務大臣表彰受賞、近著に『地域情報化認識と設計』（NTT出版、共著）</p>
<p>早稲田大学大学院政治学研究科 客員教授（科学技術ジャーナリス ト養成課程）、東京大学名誉教 授 小林 宏一氏 総括</p>	<p>1971年、財団法人電気通信総合研究所に入所。1984年に成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科助教授、1992年に東京大学社会情報研究所教授、東洋大学コミュニケーション学部を経て2006年より現職。 比較コミュニケーション産業・政策論、メディア技術の社会学、地域情報化を研究分野とする。 主な著書・論文に、「デジタル時代の放送世界」（『ネットワーク社会』、ミネルヴァ書房、2005年）、「日本における地域情報化政策の展開とその問題点」（東京大学社会情報研究所紀要、No.59、2000年）など。</p>
<p>東京経済大学コミュニケーション学部教授 川浦 康至氏 モデレータ</p>	<p>1983年、財団法人電気通信総合研究所に入所。1986年に横浜市立大学文理学部助教授、2000年に同国際文化学部教授を経て2005年より現職。 メディアを介したコミュニケーション行動に関する社会心理学的な研究を行っている。 主な著書・論文『ウェブログの心理学』（共著、NTT出版、2005年）『インターネットの心理学』（共訳、NTT出版、2001年）『携帯電話と社会生活』（現代のエスプリNo.405）（共編、至文堂、2001年）など。</p>